

「令和8年度病害虫発生予報第7号」の発表について

○今後の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 大豆では、吸実性カメムシ類の発生が、北陸、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜・花きでは、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びハスモンヨトウの発生が、北陸等の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、北関東、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多いと予想されています。

この他、なしのハダニ類等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期の防除を実施してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

- ・ 国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

総合防除の実践

温暖化等の気候変動や薬剤抵抗性の発達等を背景に、病害虫・雑草への対応が年々難しくなっています。このため、消費者に支持される食料の安定的な供給が確保されるよう、「予防・予察」に重点を置いた総合防除によって、病害虫・雑草が発生及び増加しづらい生産環境を整え、持続的かつ効果的な防除を適時適切に実施し、病害虫・雑草のまん延防止及び農作物への損害の発生を軽減することが重要です。

- ・ 総合防除実践ガイドライン

参照URL: https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/g_ipm/attach/pdf/index-34.pdf

- ・ 総合防除実践マニュアル

参照URL: https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/g_ipm/attach/pdf/index-44.pdf

気象庁の向こう 1 か月の予報（9 月 3 日付け）では、気温は、北日本、東日本及び西日本で高い、沖縄・奄美でほぼ平年並と予想されています。降水量は、北日本、及び西日本日本海側で平年並か多い、東日本及び西日本太平洋側で多い、沖縄・奄美でほぼ平年並と予想されています。日照量は、全国でほぼ平年並と予想されています。

- ・気象庁ホームページ

参照URL: <https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/>
(外部リンク)

水稲で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稲	斑点米カメムシ類	四国、北九州	北東北、関東、北陸、東海、近畿、中国
	コブノメイガ	四国、九州	近畿、中国
	ツマグロヨコバイ	四国	北陸
	トビイロウンカ	四国	中国、北九州
	いもち病 (穂いもち)	近畿、四国	東海、中国
	ごま葉枯病	四国	中国
	紋枯病	中国、四国	北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**斑点米カメムシ類**の発生が、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。多くの地域で出穂時期は過ぎていますが、晩生品種などこれから出穂期及び乳熟期を迎える水田では、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、適期を逃さずに確実な防除を徹底し、さらに発生が多い場合には追加の薬剤散布を実施してください。

・**コブノメイガ**の発生が、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。上位葉での被害が多くなると収量に影響することから、本虫の本田での発生状況を把握するとともに、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に若齢幼虫の最盛期をとらえた防除を実施してください。

・**トビイロウンカ**の発生が、四国の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は急激に増殖するため、発生が多くなってからでは防除が困難です。そのため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、生息場所となる株元を注意深く観察し、成虫または幼虫の確認、把握及びその発生状況に応じた防除を実施し、適期収穫を心がけてください。

また、近年では一部の薬剤に対し抵抗性を持つトビイロウンカが飛来しています。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

・**いもち病（穂いもち）**の発生が、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、京都府から注意報が発表されています。降雨や結露により葉が長時間濡れる等の本病の感染好適条件が続いた場合に、急激に穂いもちが発生及びまん延するおそれがあるため、これから登熟する晩生品種や飼料用稲は注意が必要です。

都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察を行い、本病の発生状況に応じて防除を実施してください。

なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生していることから、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

・**紋枯病**の発生が、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。本病は高温多湿条件で発生が助長されます。昨年多発したほ場では、伝染源となる菌核の量がさらに増えることで本年也多発するリスクが高まっているため注意が必要です。上位葉が発病すると減収に繋がるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、株元をよく観察し、中位葉まで進展した株が多く認められる場合は、上位葉に進展しないよう本病の発生状況に応じた防除を実施してください。

豆類で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
大豆	吸実性カメムシ類	北陸、東海、近畿	南東北、北関東、中国、北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**吸実性カメムシ類**の発生が、北陸、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されおり、愛知県及び滋賀県から注意報が発表されています。本虫の被害は収穫時まで続くため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場内の観察をきめ細かく行い、早期発見に努め適期に防除を実施してください。また、本虫は広範囲に移動するため、発生状況等を地域で共有して、可能な限り地域一斉の防除を実施してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	コナジラミ類	近畿	北東北、四国、南九州
	ハダニ類	南関東、東海、近畿、南九州	北関東、四国、北九州
キャベツ	アブラムシ類	東海	北東北
きゅうり	アザミウマ類		南関東、北陸、近畿
	コナジラミ類	南関東、北陸、近畿	
トマト	コナジラミ類	北関東、近畿	北東北、南関東、中国、南九州
なす	アザミウマ類	近畿	南関東
	アブラムシ類	北関東	近畿、四国
	ハダニ類	近畿	南関東
ねぎ	アザミウマ類	関東、北陸、東海、近畿	北東北、四国、北九州
	黒斑病	北東北	関東、北陸、東海
きく	ハダニ類	東海、近畿	中国、四国
作物共通	オオタバコガ	北東北、北陸、近畿、南九州	南東北、北関東、甲信、東海、北九州
	シロイチモジヨトウ	南関東、北陸、東海、近畿、四国、北九州	南東北、北関東、中国
	ハスモンヨトウ	北陸、四国	南関東、東海、近畿、中国、九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

作物共通

・オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びハスモンヨトウの発生が、北陸等の一部の地域で多くなると予想されており、神奈川県ではシロイチモジヨトウについて注意報が発表されています。これらは、ナス科野菜（トマト、ピーマン等）やアブラナ科（キャベツ、ハクサイ等）等の多くの作物を加害します。幼虫は果実や花蕾、結球の内部に食入し、品質低下や結球不良を引き起こすため、発生初期の防除が重要です。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場内の観察をきめ細かく行い、早期発見に努め適期に防除を実施してください。被害残渣は発生源となるため、ほ場外へ持ち出して適切に処分して下さい。施設栽培では、開口部に防虫ネットを適切に展張し、成虫の侵入を防止してください。

なお、一部の薬剤に対して感受性の低下が認められていることから、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、同一系統薬剤の連用を避け、効果の高い薬剤を適切に選定してください。

■ ねぎ

・アザミウマ類の発生が関東、北陸、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は増殖力が高いため、発生密度が高くなってからでは防除が困難となります。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場内の観察をきめ細かく行い、早期発見に努め適期に防除を実施してください。また、農薬散布に加え、取り除いた葉等の作物残渣の適切な処分やほ場内及びその周辺の除草を徹底して下さい。

なお、一部の薬剤に対して感受性の低下が認められていることから、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、同一系統薬剤の連用を避け、効果の高い薬剤を適切に選定してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
果樹共通	果樹カメムシ類	北関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州	南東北、南関東
かんきつ	アザミウマ類		東海、北九州
	ハダニ類	東海、近畿、九州	中国、四国
	かいよう病	東海、近畿、四国	中国、沖縄
	黒点病	中国	東海、近畿
なし	シンクイムシ類	北陸	中国、北九州
	ハダニ類	北関東、北陸、四国、北九州	南東北、南関東、近畿、中国
	ハマキムシ類	北陸	東海
ぶどう	べと病	北関東、東海	
りんご	褐斑病	北東北	南東北
茶	アザミウマ類	北九州	南関東、近畿、南九州
	ハダニ類	東海、九州	近畿
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	南九州	北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

果樹共通

・**果樹カメムシ類**の発生が、北関東、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多いと予想されており、8月下旬以降、静岡県、岐阜県、和歌山県、大阪府、鳥取県及び鹿児島県から注意報が発表されています。

都道府県が発表する発生予察情報等を参考にしつつ、特に、スギ林やヒノキ林等の山林に隣接している園地や春に飛来が多かった園地では、果樹カメムシ類による被害が多い傾向があることから、引き続き飛来状況に留意してください。本虫は薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方の薬剤散布が効果的です。なお、地域一斉に薬剤散布を実施すると防除効果が高まることから、発生状況等を地域で共有して、可能な限り地域一斉の防除を実施してください。

台風は、強風により果樹カメムシ類を山林から強制的に離脱させたり、スギ・ヒノキの球果の脱落や倒木を引き起こして餌不足を招いたりするなど、結果的に果樹園への飛来時期が早期化し、飛来量を増加させる可能性があることから、台風の通過後は、特に園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。また、多目的防災網や防虫ネットに破れや隙間がないか点検してください。

・カメムシ類の防除

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/kamemusi.html#kajyukamemusirui>

茶

・ハダニ類の発生が、東海及び九州の一部の地域で多いと予想されており、熊本県から注意報が発表されています。本虫は増殖力が高いため、発生密度が高くなってからでは防除が困難となります。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、秋芽等の発生に注意し、適期に防除を実施してください。

なお、一部の薬剤に対して感受性の低下が認められていることから、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、同一系統薬剤の連用を避け、効果の高い薬剤を適切に選定してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和8年8月20日以降、都道府県が発表している警報及び注意報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注)重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
8月21日	京都府	水稻	いもち病
8月21日	徳島県	果樹類（なし）	ハダニ類
8月24日	岐阜県	果樹（カキ、ナシ、リンゴ、ミカン等）	果樹カメムシ類
8月26日	熊本県	茶	カンザワハダニ
8月26日	静岡県	かんきつ、落葉果樹（なし、かき、キウイフルーツ等）	果樹カメムシ類
8月28日	鹿児島県	カンキツ	果樹カメムシ類（ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ）
8月28日	神奈川県	ネギ、キャベツ等野菜類	シロイチモジヨトウ
8月28日	岩手県	りんご	褐斑病
8月31日	和歌山県	カキ、キウイフルーツ、ナシ、ブドウ、カンキツなど	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
8月31日	滋賀県	ダイズ	吸実性カメムシ類（主にミナミアオカメムシ）
8月31日	沖縄県	マンゴー	チャノキイロアザミウマ
8月31日	沖縄県	マンゴー	ハダニ類
9月2日	愛知県	イチゴ	ハダニ類

発表月日	都道府県	対象作物	対象病虫害
9月2日	愛知県	ダイズ	吸実性カメムシ類（主にミナミアオカメムシ）
9月2日	大阪府	果樹全般（みかん・かんきつ、かき、ナシ等）	果樹カメムシ類
9月4日	鳥取県	果樹全般	果樹カメムシ類
9月4日	大阪府	なす	アザミウマ類

注)警報を発表するほどではありませんが、重要な病虫害が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。当該地域で病虫害による経済的被害が発生したことを示すものではありません。

特殊報

令和8年8月5日以降、都道府県が発表している特殊報は以下のとおりです。

発表月日	都道府県	対象作物	対象病虫害
8月7日	佐賀県	カンキツ、茶	チュウゴクアミガサハゴロモ
8月13日	長野県	もも、すもも（日本すもも、ブルー）、うめ等核果類	クビアカツヤカミキリ
8月13日	千葉県	メロン	Cucurbit aphid-borne yellows virus
8月19日	熊本県	スモモ	スモモミハバチ
8月20日	福井県	ウメ	クビアカツヤカミキリ
8月26日	静岡県	葉しょうが	ショウガ褐色しみ病

注)各都道府県において、新たな病虫害を発見した場合及び重要な病虫害の発消長に特異な現象が認められた場合であって、従来と異なる防除対策が必要となるなど、生産現場への影響が懸念される場合に発表します。

病虫害の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病虫害防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病虫害被害が発生していた場合の対応

我が国未発生又は我が国の一部のみに発生している重要病虫害が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えるほか、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こうした重要病虫害の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病虫害の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病虫害被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病虫害防除所等にお知らせください。

- ・植物防疫所の連絡先
参照URL：<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>
- ・都道府県の病虫害防除所の連絡先
参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujoshou.html>

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日

第8号：令和8年10月7日(水曜日)

第9号：令和8年11月11日(水曜日)

第10号：令和9年3月10日(水曜日)

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

代表：03-3502-8111(内線4562)

ダイヤルイン：03-3502-3382